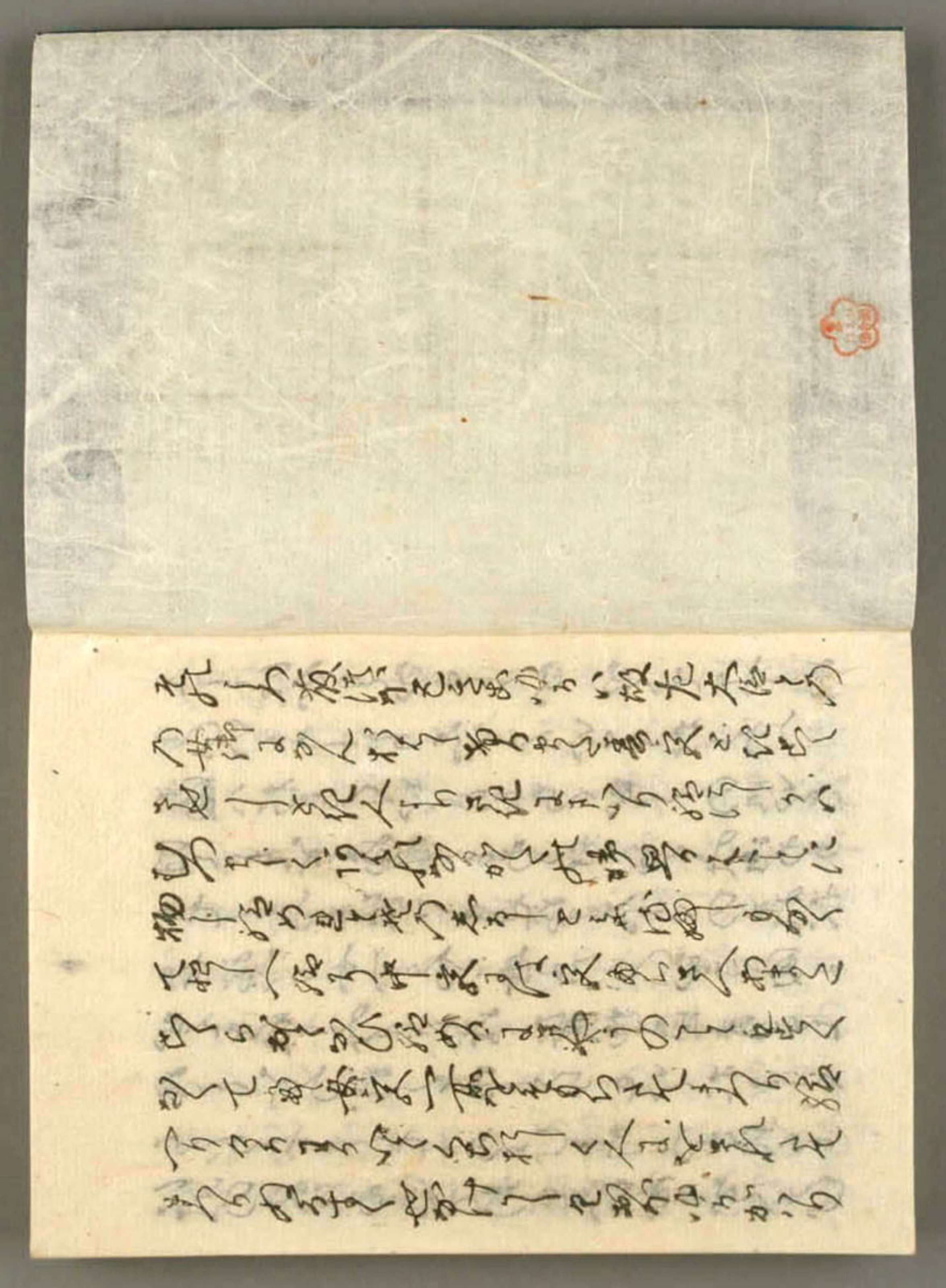
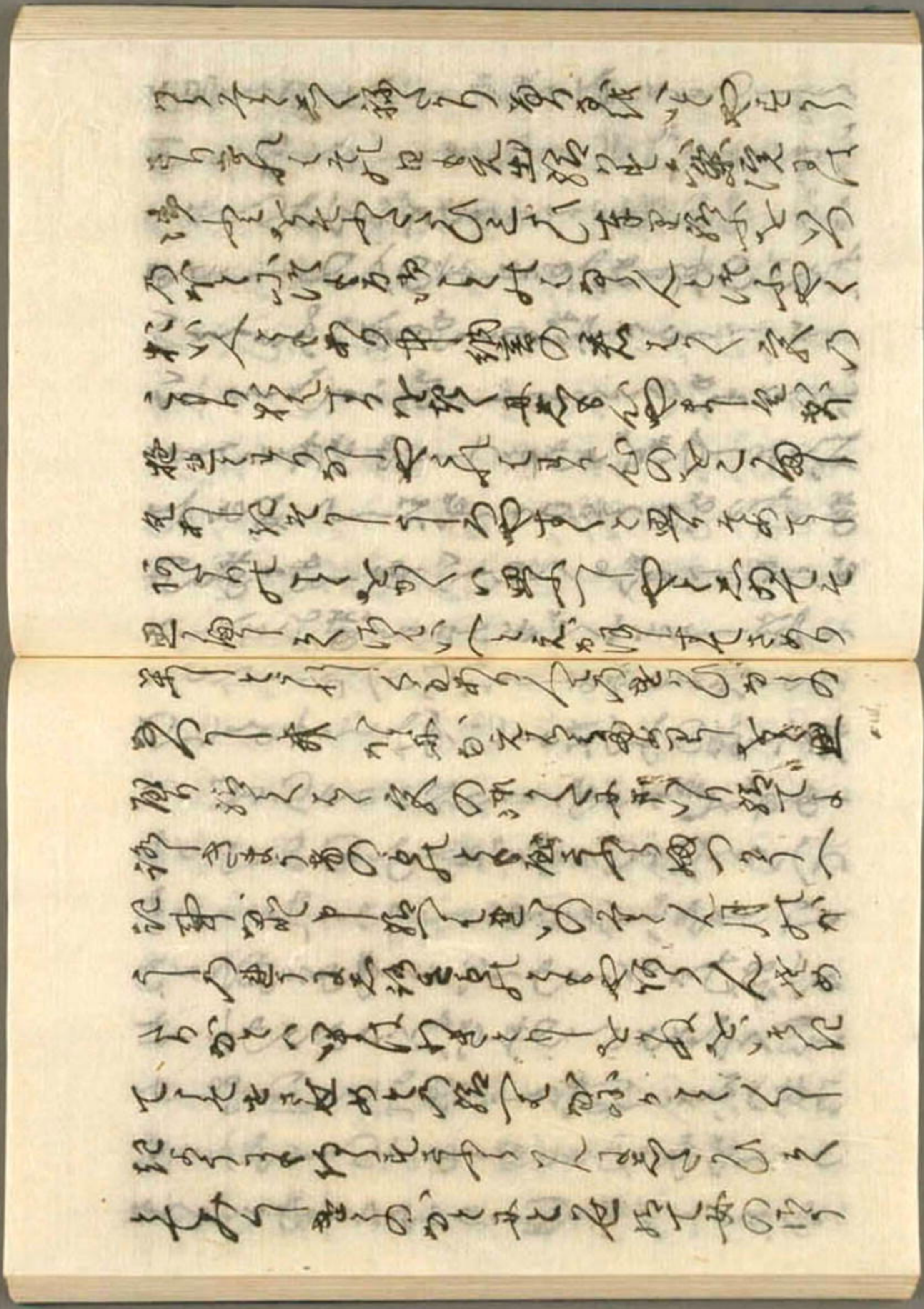
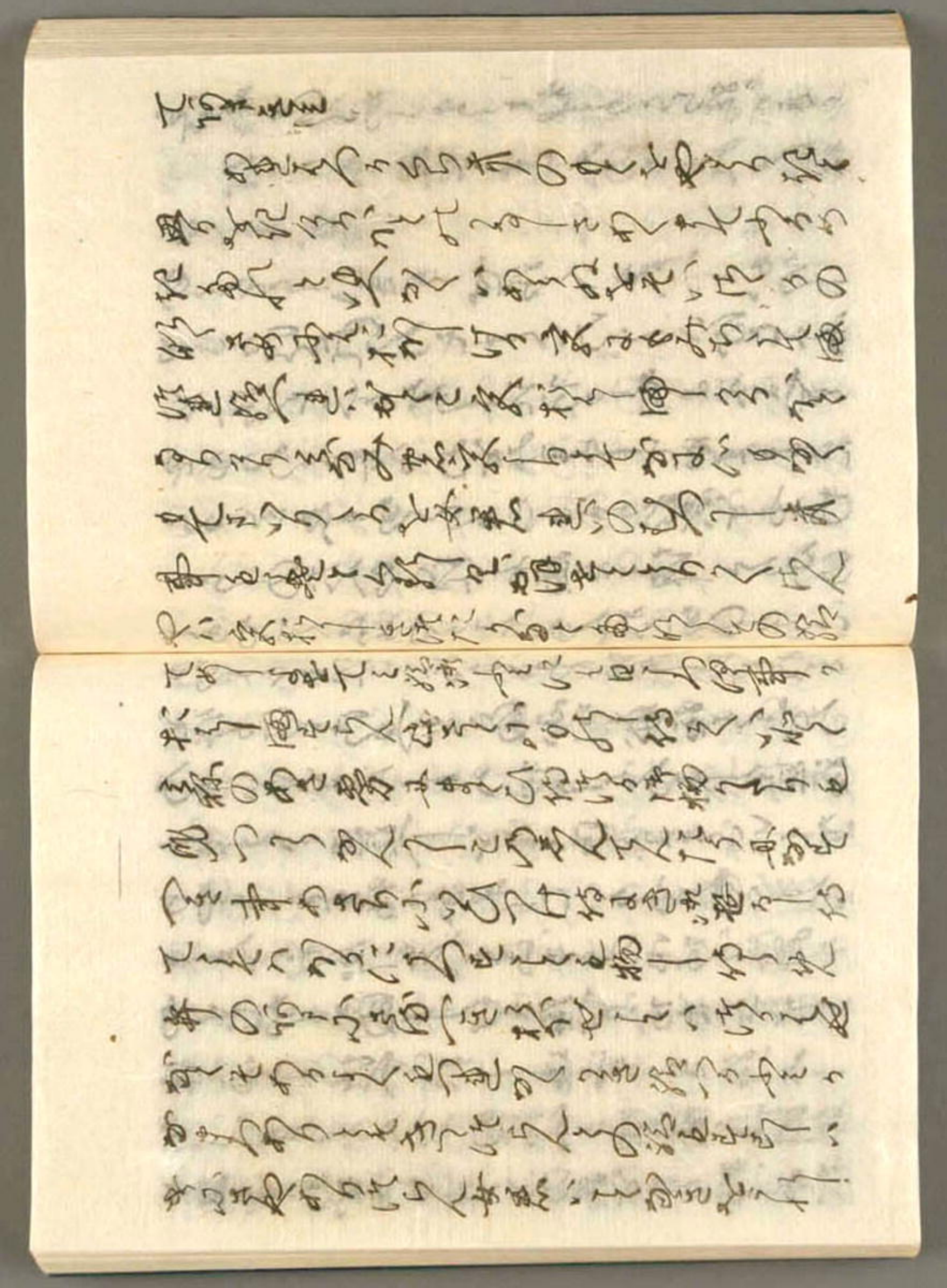
WA 7
(49)
263





[illegible]



嵐くもはらぬ流れをかはせしあの今の松ぞしる
の花やうきふしなかりしかたりて申しあらく
まて御涼へのかめりかしう経うちてその何
かつきまれて御むまれ経つうな家といふ
もひわたくまふしもわれうち大将殿とよ
あこひふてへくうきたくもほともしんへ。おり
ましう忘かしこまりぬ。陣うてこの流転こ
ひとゝちそへて申ちかうすいりて経つうく
そとわおそし御せし御のり経をみ人御し流
う御陣しむひ三日いまいの命ぞ次流まさ

そしてそのそ日の又ハ大将殿よりとんと
祀る十まへての世まさうんかくいはよれつ孫
あやうそとまちろ松まへのついかさね三十
あこの御そゝ川へかさねて流むろきかとて
おほくかゝると思ひやうに志明し経也と
ら御のみれたまさと北それぬ仏たちへ御
あんやうかくれ松まへまうさんうつの松しき
たゞいきとかふてお花くさつゝを経へ日本海
の流ま又小ハ流いうき孫ぞさかりのまて心
よりこ三十三御く志流しさう事ともあ